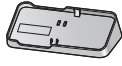
Panasonic®

VL-DC851　VL-DM200　VL-MDM200

取扱説明書

ワイヤレスドアモニター

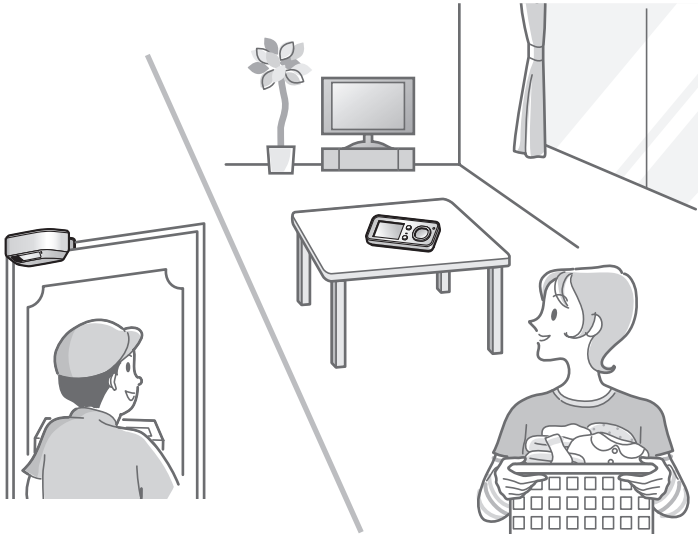
確認と準備

使いかた

必要なとき

困ったとき

品番　VL-SDM200（ブイエル　エスディーエム）

（VL-DC851 / VL-DM200 / VL-MDM200）のセット

Li-ion 00

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（5～8ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

訪問者が誰だかわからず、不安を感じたことはありませんか？

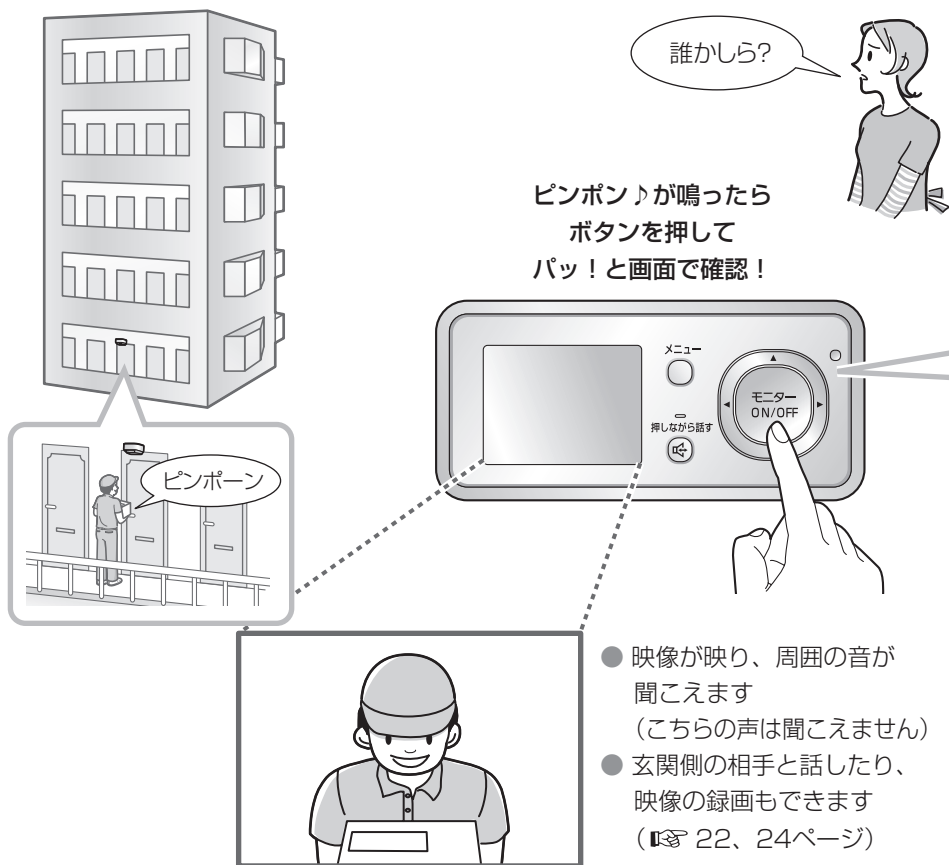
ワイヤレスドアモニターなら、誰が来たのか

誰かしら?

ピンポーン

ピンポン♪が鳴ったら
ボタンを押して
パッ！と画面で確認！

メニュー
押しながら話す
モニター
ON/OFF

● 映像が映り、周囲の音が聞こえます
（こちらの声は聞こえません）
● 玄関側の相手と話したり、映像の録画もできます
（☞ 22、24ページ）

本機は、盗難・侵入を阻止するものではありません。発生した損害については、責任を負いかねますのでご了承願います。

構成品について

ワイヤレスドアカメラ
（本書の表記：**ドアカメラ**）

玄関のドアに取り付けて使います。
（取り付けかた
☞ 18～21ページ）

ワイヤレスモニター子機
（本書の表記：**モニター子機**）

持ち運びができるので、玄関側が気になるとき、すぐに映像で確認できます。

増設もできます 付属と合わせて4台まで
（別売品☞ 33ページ）

お部屋で見ることができます

ドアカメラに映る範囲
（ワイド表示〈お買い上げ時〉の場合）

■ ドアの高さが2 mの場合

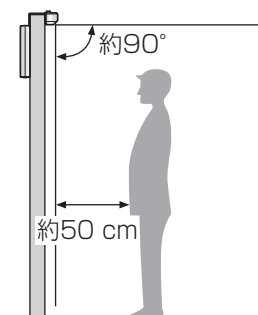
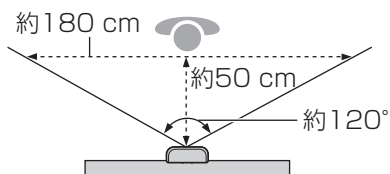
約90°

約50 cm

【上から見たとき】

約180 cm

約50 cm

約120°

映像と音声の流れ

ドアカメラ　充電台付親機　モニター子機

充電台付親機の電源が入っていないと、モニター子機で映像を見ることができません。

充電台付親機

モニター子機でドアカメラの映像を見るために必要な機器です。
電源は常に入れた状態でご使用ください。
（☞ 上記「映像と音声の流れ」）

電波が届きにくいときは

■ 中継アンテナ「KX-FKD1」

ドアカメラと充電台付親機間に障害物などがあり、電波が届きにくい場合などに設置すると、電波状態を改善できます。
（☞ 29ページ）

もくじ

確認と準備

使いかた

誰かしら?

ワイド/ズーム、パン·チルト、録画、明るさ、音量調整もできます

必要なとき

困ったとき

付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付属品

〈ドアカメラ用〉

- □ 単3形アルカリ乾電池........4本
- □ 補助用両面テープ※............1枚
- □ スペーサー※ 2枚
- □ 六角レンチ※ 1本

〈モニター子機用〉

- □ バッテリーパック..............1個

添付品

- ☑ 取扱説明書(本書)..............1冊
- □ 保証書.................................1式

※ 取り付け時に使用します。(詳しくは ☞ 20、21ページ)

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 危険

バッテリーパックについて

禁止

■ 分解・改造しない※
■ 指定のバッテリーパック以外は使用しない※
■ 付属のバッテリーパックを、この機器以外に使用しない※
■ 火の中に捨てたり、加熱したり、水などの液体でぬらしたりしない※
■ 火のそばやストーブのそば、直射日光の強いところなどの高温の場所で充電、使用、放置しない※
■ ⊕ ⊖ 端子を金属などに接触させない※
■ 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない※
（※発熱・発火・破裂・液もれの原因になります）

禁止

■ ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
（発熱・発火・破裂・液もれの原因になります）

■ 指定のバッテリーパックをモニター子機に入れ、専用の充電台付親機を使用して充電する
（発熱・発火・破裂・液もれの原因になります）

乾電池について

禁止

■ 液もれしたときは、”液”に触れたり目に入れない
（目に入ると、失明の原因になります）
● 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

安全上のご注意（つづき） 必ずお守りください

警告

バッテリーパックについて

禁止

■ **液もれしたときは、"液"に触れたり目に入れない**
（目に障害を与える原因になります）
- 目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■ **電子レンジで加熱しない**
（発熱・発火・破裂・液もれの原因になります）

乾電池について

禁止

■ **充電、加熱、分解したり、火の中へ入れない※**

■ **⊕ ⊖ 端子を金属などに接触させない※**

■ **ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない※**

■ **新旧乾電池や違う種類の乾電池を混用しない※**

（※発熱・発火・破裂・液もれの原因になります）

■ **乳幼児の手の届くところに置かない**
（誤って飲み込むおそれがあります）
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ **⊕ ⊖ は正しく入れる※**

■ **使えなくなった乾電池はすぐに取り出す※**

■ **長期間使わないときは、機器から乾電池を取り出す※**

（※乾電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります）

⚠ 警告

禁止

■ **分解・修理・改造しない**※1

■ **湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない**※1

(※1 火災・感電の原因になります)

■ **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**※2

■ **雷が鳴ったら、充電台付親機、電源部、電源プラグに触れない**※2

(※2 感電の原因になります)

■ **医療機器の近くでの設置や使用をしない(手術室、集中治療室、CCU**※3**などには持ち込まない)**

(本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります)

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ **電源部、電源プラグを破損するようなことはしない**

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、重いものを載せるなど)

(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります)

● 修理は販売店にご相談ください。

禁止

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC 100 V以外での使用はしない**

(たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因になります)

■ **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない**

(本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります)

■ **機器内部に金属物を入れない**

(火災・感電の原因になります)

● 金属物が入った場合はすぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■ **電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない**

(発熱・発煙・火災・破裂の原因になります)

■ **水をかけたり、ぬらしたりしない**

(火災・感電・けがの原因になります)

● ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

■ **電源部、電源プラグに水をかけたり、ぬらしたりしない**

(火災・感電・けがの原因になります)

● ぬれた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店へご相談ください。

安全上のご注意（つづき） 必ずお守りください

⚠ 警告

■ **煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグを抜き、バッテリーパックを外す**
（そのまま使用すると、火災・感電の原因になります）
- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■ **心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す**
（電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります）

■ **電源プラグは根元まで確実に差し込む**
（差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります）
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ **電源プラグのほこりなどは定期的にとる**
（プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります）
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 注意

乾電池について

禁止

■ **指定外の乾電池を使わない**
（乾電池の液もれ、発熱、破裂の原因になることがあります）

禁止

■ **不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない**
（落下により、破損やけがの原因になることがあります）

■ **玄関ドアからドアカメラが落下しないようにしっかりと取り付ける※**

■ **乾電池を交換するときは、乾電池ケースを落下しないように取り外したり、取り付ける※**

（※落下により、破損やけがの原因になることがあります）

使用上のお願い

■こんなところには設置しない

ドアカメラ

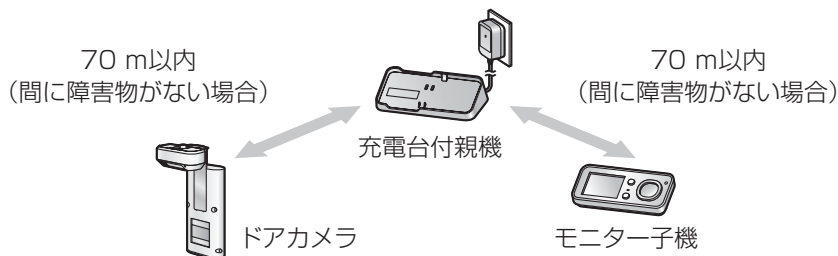
- **逆光になる場所**（顔が暗く映り、識別しにくくなる原因）
- **硫化水素の発生するところ**（故障などの原因）
- **ドアを開けたときに、内側に風雨が当たる場所**
（無線ユニットは防水対応でないため、故障の原因）

充電台付親機・モニター子機

- **火気・熱器具の近く**（変形や故障の原因）
- **テレビ･ラジオ･パソコンなどのOA機器、エアコンの近く**（ノイズの原因）
- **直射日光の当たるところ・冷暖房機の近く**
（40 ℃以上、5 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- **温度変化が激しいところ**（結露による誤動作の原因）

■充電台付親機・モニター子機・ドアカメラ間の通信について

70 m以内
（間に障害物がない場合）

充電台付親機

ドアカメラ

モニター子機

<通話について>
補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

- モニター子機とドアカメラの距離が近すぎると、「ピー」という音（ハウリング）が生じることがあります。
- 距離が離れていたり、70 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。（電波表示については☞ 15ページ）

• アルミはく入りの断熱材が入った壁
• コンクリートやトタン製の壁
• 各機器をそれぞれ別の階などで使うとき
• 複層ガラスの窓や金属製の雨戸
• 壁を何枚もへだてたところ

- 上記のような場合、充電台付親機とドアカメラ（またはモニター子機）の間に、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。
（☞ 29ページ）

中継アンテナ

電源プラグは、充電台付親機の設置場所の近くにあるコンセントに差し込み、簡単に抜き差しができるようにしてください。

- 本機を長期間使用しない場合など、電源プラグを抜くときは、ドアカメラの電源をOFFにすることをお勧めします。（ドアカメラの乾電池の消耗を防ぐため）

使用上のお願い（つづき）

電波について

● **本機は、1,895.616～1,902.528 MHz の帯域を使用する無線設備です**

本機には、1.9 GHz帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。

（一般社団法人　電波産業会　標準規格「ARIB STD-T101」準拠）

1.9ーD

● **本機は、Digital Enhanced Cordless Telecommunicationsに準拠した日本国内向けの通信方式です**

Digital Enhanced Cordless Telecommunications
次世代デジタルコードレス通信方式

● **本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

1. 本機は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、充電台付親機の電源プラグを抜き、ドアカメラの電源をOFFにして、お客様ご相談センター（☞ 41ページ、裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
2. その他、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 41ページ、裏表紙）へお問い合わせください。

プライバシー・肖像権について

● ドアカメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

個人情報について

本機には、右記のような個人情報が記録されます。これらの記録された情報の流出による不測の損害などを回避するために、お客様の責任において管理してください。

- **充電台付親機の本体メモリー**
  ➔ 訪問者の映像などの録画データ

免責事項

- 記録された情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。記録された情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

〈本機の修理を依頼するとき〉

- 充電台付親機の録画データは取り出すことができません。修理依頼の前に、必要に応じて録画内容を確認してください。
- データの確認後、モニター子機を使って「画像全消去と初期化」(☞ 27ページ)を行い、充電台付親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。
  - 故障の状態により、モニター子機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

「画像全消去と初期化」をせずに修理依頼された場合でも、修理の際、充電台付親機の本体メモリー(記録情報や設定内容)がお買い上げの状態に戻る場合があります。

〈本機を譲渡・廃棄・返却するとき〉

- モニター子機を使って「画像全消去と初期化」(☞ 27ページ)を行い、充電台付親機の本体メモリーに記録された情報を消去してください。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。
  (故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください)
- 停電すると本機は使えません。
- 取扱説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアカメラをドアから取り外してください。

各部のなまえとはたらき

ドアカメラ

登録ランプ※
登録時に点滅／点灯します

登録ボタン 通常は使用しません
● 修理交換時など、再登録が必要なときに使う
（☞ 38ページ）

固定ねじ

カメラユニット

マイク

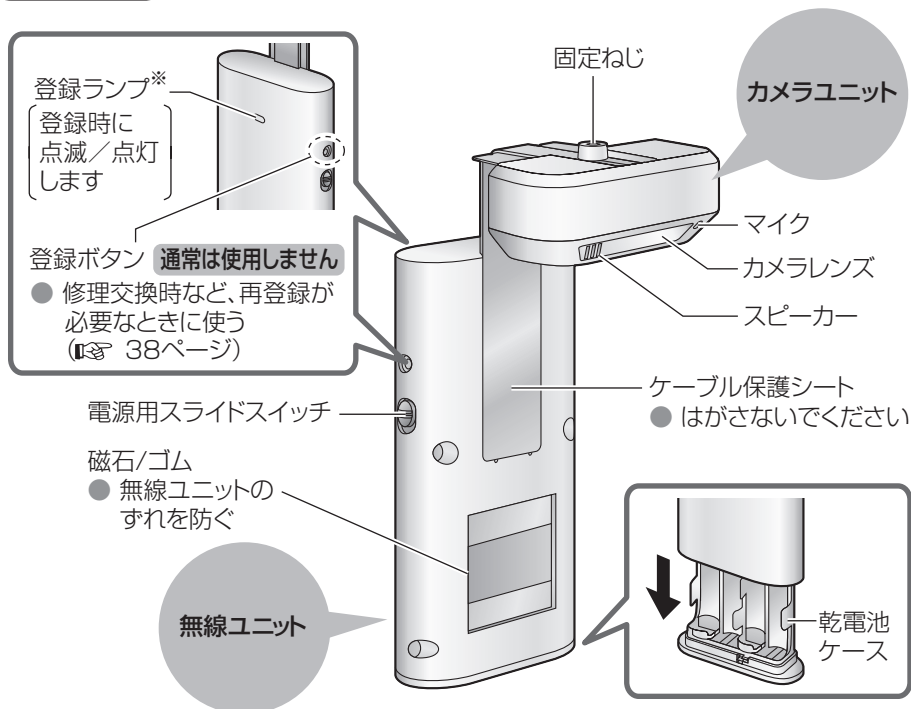
カメラレンズ

スピーカー

ケーブル保護シート
● はがさないでください

電源用スライドスイッチ

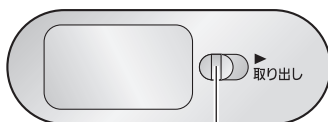
磁石/ゴム
● 無線ユニットのずれを防ぐ

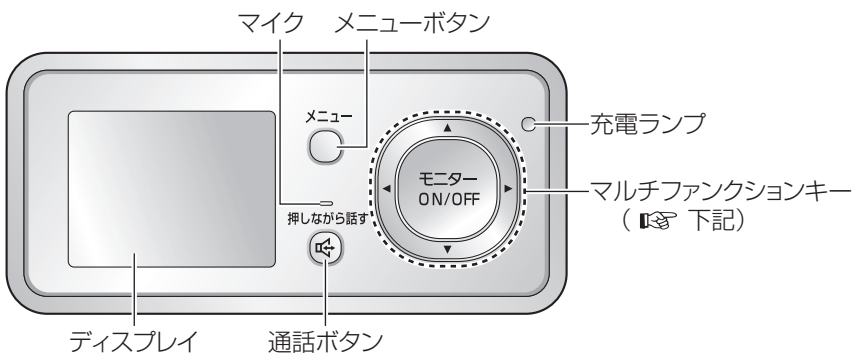
無線ユニット

乾電池ケース

※ ドアカメラの電源をONにしたときは、登録ランプの点滅で電源が入ったことをお知らせします。（☞ 19ページ）

電源用スライドスイッチ

● 次の場合は乾電池の消耗が早くなりますので、スイッチをOFFにしてください。
- 長期間の外出など、充電台付親機の電源プラグをコンセントから抜くとき
- 停電のとき

底から見たとき

スライドレバー
● 乾電池ケースを取り出すときに使う
（☞ 19ページ）

モニター子機

マルチファンクションキーについて

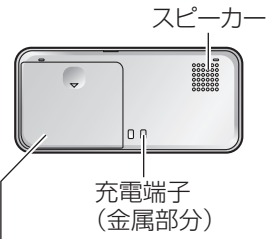
● 項目の選択など、操作ガイドで表示された操作をする

● ドアの外の様子を見る（☞ 22ページ）
● 操作ガイドで表示された操作をする

本書での表記： （**上**または**下**を押す）

（**左**または**右**を押す）

（**モニター**を押す）

底から見たとき

電池カバー

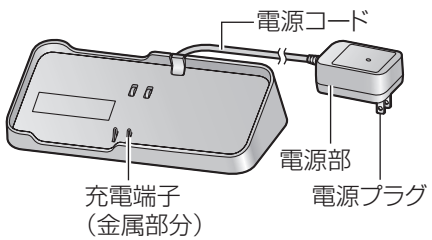
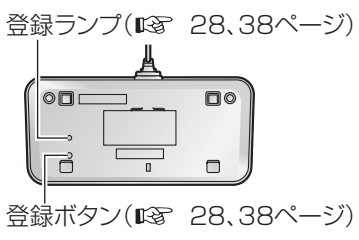
● バッテリーパックを入れたり、交換するときに開ける（☞ 16、32ページ）

充電台付親機

（本体表示：MAIN UNIT）

底から見たとき

登録ランプ（☞ 28、38ページ）

登録ボタン（☞ 28、38ページ）

画面の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

● トップメニューは、ディスプレイ消灯時に メニュー を押すと表示されます。

① 操作できるメニュー名を表示する

- **画像再生：**
  録画した画像の再生
  （☞ 25ページ）
- **アンテナ・電池：**
  電波状態や電池残量の確認
  （☞ 15ページ）
- **各種設定：**
  設定の変更
  （☞ 26、27ページ）

② **操作ガイド**
ボタンのはたらきや、操作の案内を表示する

● ドアカメラの映像表示中や、録画再生中の操作ガイドは、設定により、表示させないようにすることもできます。
（☞ 26ページ）

③ 現在の状態をマークで表示する

マーク	説明
ワイド	ワイド表示中のとき（☞ 23ページ）
ズーム	ズーム表示中のとき（☞ 23ページ）
●録画	録画中のとき（☞ 24ページ）
	押しながら話す を押して話しているとき（☞ 22ページ）
	充電台付親機とドアカメラ（またはモニター子機）間の電波が弱いとき
	ドアカメラやモニター子機の電池残量が少ないとき

アンテナ・電池情報について

ドアカメラやモニター子機の電波状態や電池残量を、下記の操作で確認できます。

1 メニュー を押し、 で
[アンテナ・電池]を選ぶ

2 モニター ON/OFF (決定)を押す

3 (更新)を押す

● 電波状態と電池残量の最新情報が表示される

4 終わったら、
メニュー を2回押す

マークの見かた

■電波状態表示

強い　弱い　圏外

この範囲でご使用ください

● 電波が弱いまたは圏外のときは、電波の強い場所へ機器を移動してください。
- **ドアカメラが圏外のとき**
  充電台付親機を移動する
- **モニター子機が圏外のとき**
  モニター子機または充電台付親機を移動する

■電池残量表示

多い　少ない　電池切れ

この範囲でご使用ください

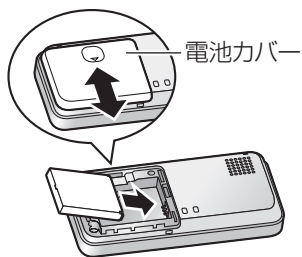
● **ドアカメラが電池切れのとき**
乾電池を交換する
(☞ 19、32ページ)

● **モニター子機が電池切れのとき**
充電する(☞ 16ページ)

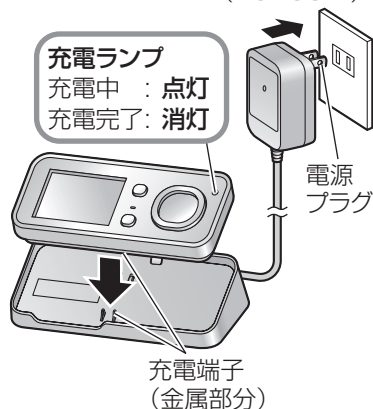
● ドアカメラが (圏外)のときは、電池残量マークは表示されません。

● 電波が弱いときや電池残量が少なくなると、メニュー が赤点灯してお知らせします。
このとき メニュー を押すと、ランプが消灯し、アンテナ・電池情報の画面が表示されます。表示を確認して、乾電池の交換など適切な処置をしてください。

モニター子機を充電する

モニター子機は必ず充電してからお使いください。

1 バッテリーパックを入れる

- 電池カバーを開け、バッテリーパックを入れカバーを閉める

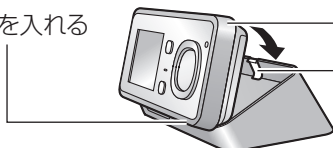
2 充電台付親機の電源プラグをコンセントに差し込む

3 モニター子機を置いて(☞ 下記)、充電する

➔ 完了すると充電ランプが消灯
(充電の目安：約6時間)

- モニター子機は充電台付親機に置いたままでも過充電されません
- 電池切れの場合、充電ランプが点灯するまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。(約5分程度)

充電が完了しても、電源プラグをコンセントから抜かないでください。(ドアカメラの映像を見ることができなくなります)

充電台付親機への置きかた

① 下側を入れる

② 上側をしっかり押さえる

- 充電台付親機のツメにかかるように押さえて、充電ランプが点灯することを確認する

- 充電台付親機から外すときは、上側から外す

お願い

- 1週間以上、モニター子機を充電台付親機から外したり、電源プラグをコンセントから抜くときは、バッテリーパックを外してください。(バッテリーパックの性能維持と電池消耗を防ぐため) ➔ 次に使うときは充電してください。

日時(時計)を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。下記の操作で設定してください。

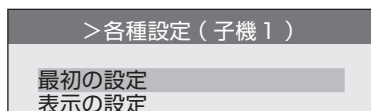
● 日時の設定をしないと、録画日時(☞ 25ページ)が記録されません。

1 メニュー を押し、 で

[各種設定]を選ぶ

2 モニター ON/OFF(決定)を押し、 で

[最初の設定]を選ぶ

>各種設定 (子機 1)
最初の設定
表示の設定

3 モニター ON/OFF(決定)を押し、 で

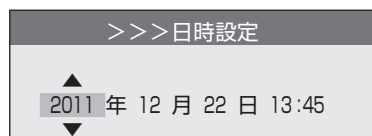
[日時設定]を選ぶ

4 モニター ON/OFF(決定)を押し、 で

日時を合わせる

	年・月・日・時・分の項目を選ぶ
	数字を選ぶ(押し続けても数字が切り替わる)

(設定例)

>>>日時設定
▲ 2011 年 12 月 22 日 13:45 ▼

5 日時を合わせ終わったら、

モニター ON/OFF(決定)を押す

● 「ピー」と鳴り、日時が設定される

6 終わったら、

メニュー を2回押す

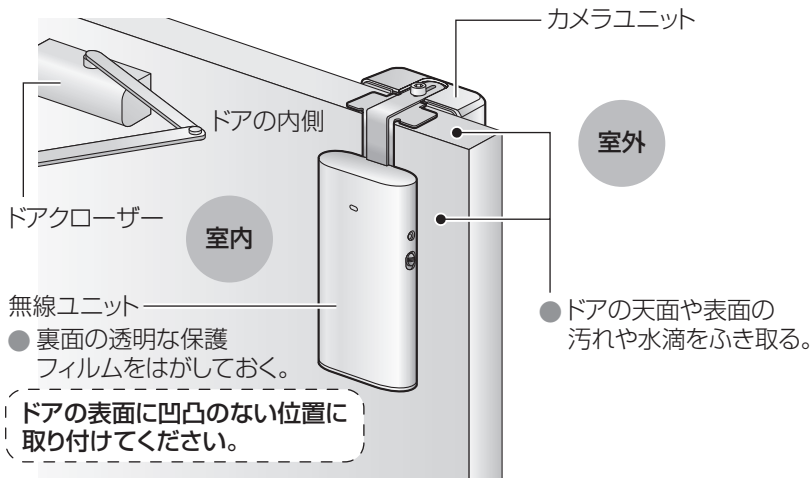
お知らせ

● 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。

ドアカメラを取り付ける

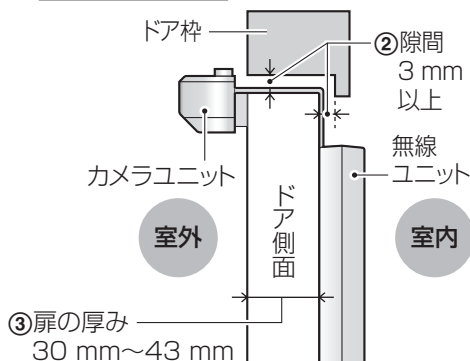
取り付けの前に

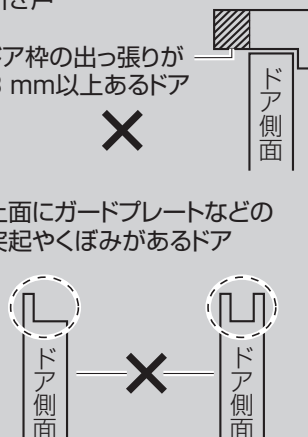
設置のイメージと準備

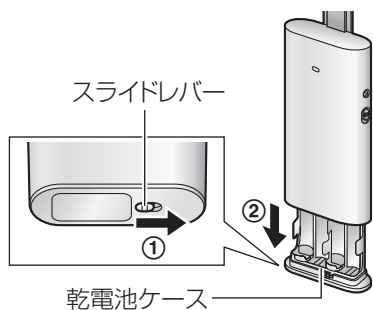
- 充電台付親機の電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れた状態にしておく。

取り付け可能なドア

鉄製の外開きドアで次の要件を満たすもの

① ドアクローザーが付いている（上図）
② ドア枠とドアの間に3 mm以上の隙間がある
③ 扉の厚みが30 mm～43 mm

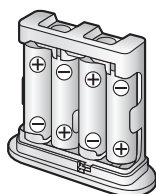
横から見た図

次のドアには取り付けできません

- 引き戸
- ドア枠の出っ張りが3 mm以上あるドア
- 上面にガードプレートなどの突起やくぼみがあるドア

無線ユニットに乾電池を入れる

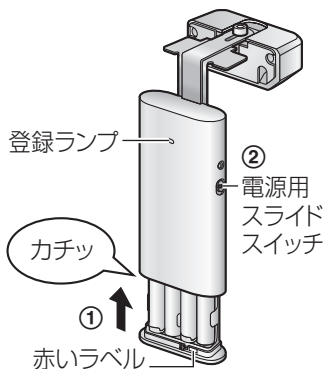
ドアに取り付ける前に、下記の手順で乾電池を入れてください。

1

① スライドレバーをずらす

② 乾電池ケースを取り外す

落とさないように、ご注意ください。

2

乾電池を入れる

- 単3形アルカリ乾電池4本（付属品）
- 新旧・異種の乾電池を混用しない
- 乾電池の⊕ ⊖ は正しく入れる

3

① 乾電池ケースを無線ユニットに入れる

- 赤いラベルが隠れるまで、しっかり押し込む

② 電源用スライドスイッチをONにする

- 登録ランプが変化（点滅→消灯）して電源が入ったことをお知らせする

お知らせ

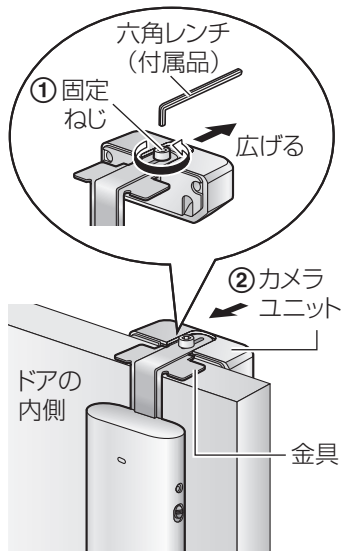
- 乾電池には推奨使用期限があります。
  ご使用の際には乾電池に記載してある期限を確認してください。
- 単3形アルカリ乾電池を使用してください。異なる種類の乾電池を使用した場合、電池寿命が短くなることがあります。

乾電池を交換するとき

ドアカメラ本体の落下防止のため必ずドアを閉め、電源をOFFにしてから、お取り替えください。

ドアカメラを取り付ける（つづき）

ドアカメラをドアに取り付ける

取り付けの際は、ドアに指を挟まないようご注意ください。

1

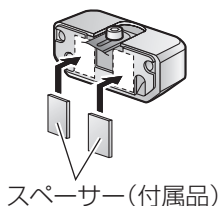
① 固定ねじをゆるめてドアに掛ける

固定ねじは外れないようにゆるめる

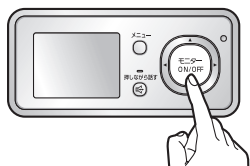
- 訪問者が中央に映るような位置に掛ける

② ドアの厚みに合わせてカメラユニットの位置を調節し、固定ねじを軽く締めて、仮固定する

③ ドアを開け閉めして、固定ねじなどカメラユニットの上部がドア枠に当たらないことを確認する

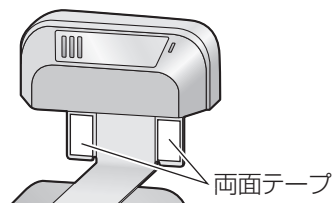
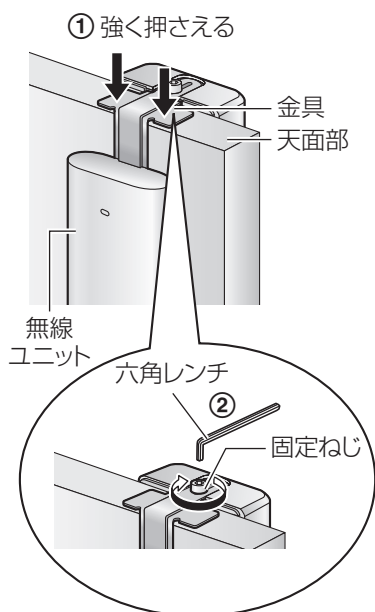
固定ねじなどカメラユニットの上部が当たるときは、カメラユニットの内側にスペーサーを貼ってください（2か所）

2

ドアカメラの位置が適切か確認する

- モニター子機で映像を確認し、取り付け位置を調節する

【カメラユニットを下から見た図】

3

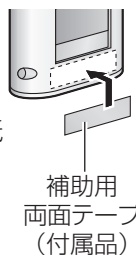
仮固定した固定ねじをゆるめないまま、ドアカメラをゆっくりドアから外し、金具の裏側にある両面テープのはくり紙をはがす

ドアの天面や表面の汚れや水滴をふきとり、凹凸のない位置に取り付けてください

4

① 手順2で確認した位置に、ドアカメラを掛け、ドアに両面テープが貼り付くように金具を強く押さえる

- ドアを閉めた状態で、無線ユニットが容易に動かないことを確認する

金具の両面テープの貼り付きが悪く容易に動いてしまうときは…

1. ドアカメラをドアから外す
2. 固定ねじをゆるめてカメラユニットと無線ユニット間を広げ、無線ユニットの裏側に補助用両面テープを貼る
3. 両面テープのはくり紙をはがし、再度ドア(元の位置)に掛ける
4. 無線ユニットを押さえてドアに貼り付けたあと、カメラユニットをドアの厚みに合わせて調節する

② ドアを閉めてカメラユニットをドアに押し付けながら、固定ねじをしっかり締める

- **六角レンチは、長手方向を持って、しっかりと締めてください**
- 固定ねじは、定期的にゆるみのないことを確認してください

お願い

- ドアカメラは、落下防止のため粘着力の強い両面テープでドアに固定されます。取り外すときは丁寧にはがしてください。
（無理にはがそうとすると、ドアの表面を傷める場合があります）

ドアの外の様子を見る（モニター）

訪問者があったときやドアの外が気になるときに、
外の様子を映像と音で確認できます。
● こちらの声は外には聞こえません。

1 モニター ON/OFF を押す

● 映像が表示され、
周囲の音が聞こえる

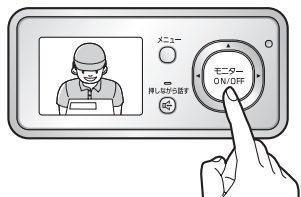
訪問者に話しかけるには

押しながら話す を押したまま話す

（画面に を表示）

●押している間、相手の声は聞こえません

■ 相手の声を聞くには

押しながら話す から指を離す（ が消える）

●こちらの声は相手に聞こえません

モニター中にできること

● ワイド/ズームの切り替え
（☞ 23ページ）

● 録画（☞ 24ページ）

● 明るさ/受話音量/送話音量の調整（☞ 下記）

2 終わったら、
モニター ON/OFF を押す

明るさ/受話音量/送話音量を調整するには

モニター中に

メニュー を押す ▶ （▲▼）で変更したい項目を選ぶ ▶ （◀▶）で調整する

例） 暗 ■ ▪ | ▪ ▪ 明
明るさ

お知らせ

● モニター時間は約20秒です。
ただし、モニター中に何か操作をすると、最大３分まで延長されます。

● 夜間など、ドアカメラの周囲が暗くなってくると…
• 画質が粗くなることがあります。
• 訪問者の顔などを見やすくするため、自動的に映像を明るく調整します。
（白っぽく見えますが、故障ではありません）

表示映像をワイド/ズーム、パン・チルトする

モニター中の映像を一時的にワイド/ズームに切り替えたり、ズーム位置の切り替え（パン・チルト）ができます。

1 ワイド表示中に

を約3秒間押す

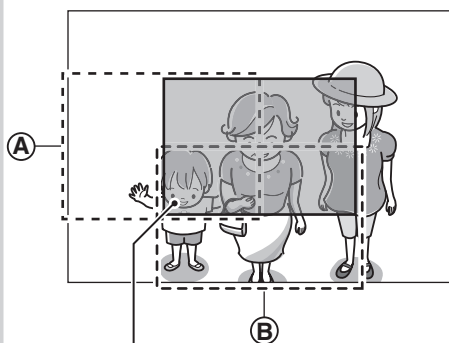
- ズーム表示に切り替わる
- ワイド表示に戻すには、

再度 （モニター ON/OFF） を約３秒間押す

2 **ズーム位置を切り替えるには**

ズーム表示中に （◀▶▲▼） **を押す**

- 押すごとにズーム位置が切り替わる（☞ 右記）
- 画面に表示されたマークの方向に動かすことができる

ズーム位置の切り替え（パン・チルト）

例）
この位置をズームしているとき

◀ を１回押す ➔ Ⓐの位置に移動

▼ を１回押す ➔ Ⓑの位置に移動

お知らせ

- 上記の操作でワイド/ズームを切り替えても、画面を終了すると元に戻ります。設定を変えるには、「初期表示設定」を変更してください。（☞ 26ページ）
- ズーム位置は画面を終了しても記憶されます。

ドアの外の様子を見る（モニター）（つづき）

表示映像を録画する

モニター中の映像を録画することができます。

- 録画1件につき、1枚の静止画を記録します。（録画は最大10件まで）
- 録画した画像は、充電台付親機に記録されます。

1 モニター中に

を押す

2

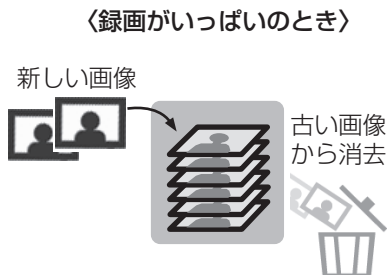
お知らせ

- ワイド表示中はワイド画像、ズーム表示中はズームした範囲の画像が録画されます。（録画再生時に、ワイド/ズームの切り替えや、ズーム位置の切り替えはできません）
- 録画操作を行ってから録画されるまで時間差が生じます。このため、操作を行ったときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

録画がいっぱいになったとき（録画の自動更新）

新しい画像を録画するために、古い画像から順に自動で消去されます。このため、手動で画像を消去しなくても、録画できなくなることはありません。

- 消したくない画像は、保護設定することができます。（☞ 25ページ）

〈録画がいっぱいのとき〉

新しい画像

古い画像から消去

録画した画像を再生する

モニター中に録画した画像を、下記の操作で見ることができます。

● 再生中は、消したくない画像を保護したり、不要な画像の消去もできます。
（保護件数は最大5件です）

1 メニュー を押し、 で [画像再生] を選ぶ

2 モニターON/OFF（決定）を押す

● 日時の最も新しい画像が表示される

■ 画像が2件以上あるとき、次の画像を見るには

 を押す　押すごとに、日時の新しい画像から古い画像を表示

■ ガイド（日時、操作ガイド）を消すには

 を押す※

3 終わったら、モニターON/OFF（終了）を押す

画像を保護/消去するには

■ 保護（または保護解除）するとき

① 画像を再生中に、 メニュー を押す

② で [保護設定／解除] を選び、
モニターON/OFF（決定）を押す

保護設定すると保護マークが表示され、解除すると消える

■ 消去するとき

① 画像を再生中に、 メニュー を押す

② で [1件消去] を選び、
モニターON/OFF（決定）を押す

③ で [はい] を選び、
モニターON/OFF（決定）を押す

※ 一時的に消えますが、何か操作を行うと、再度表示されます。

お知らせ

● 保護件数が5件になると、それ以上保護できません。
別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

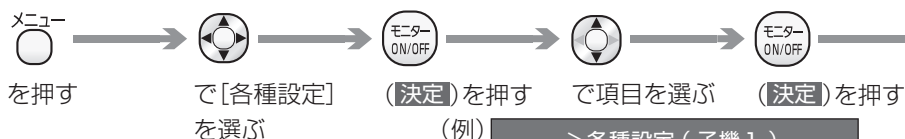
● 保護設定中の画像は消去できません。保護解除してから消去してください。

各種設定一覧

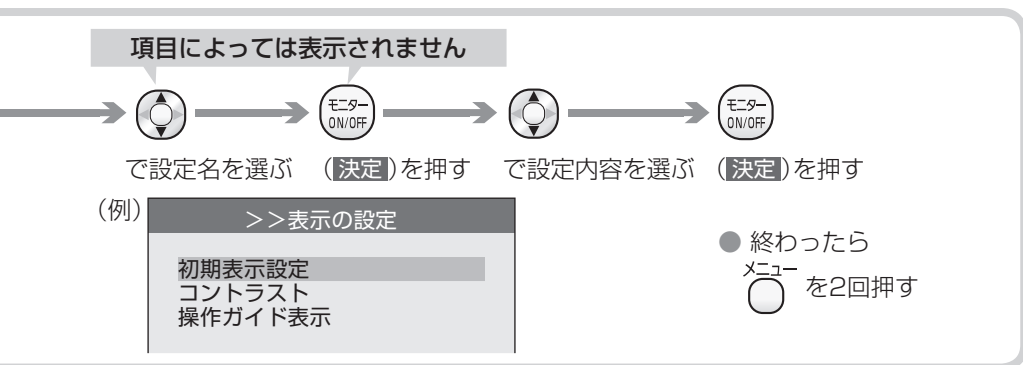
使いかたに合わせて、設定を変更できます。

- 変更のしかたはページ下にあります。ただし、一覧表に(設定は ☞ ○○ページ)とあるものは、参照先の手順に従ってください。
- 設定中に約60秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。
- ［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	設定名	設定内容と概要
最初の設定	★ 色ムラ防止設定	東日本(50 Hz)、西日本(60 Hz) ● 色ムラ防止のため、お使いの地域に合わせて周波数を選ぶ
	★ 日時設定	● 現在の日付・時刻を設定する(設定は ☞ 17ページ)
表示の設定	★ 初期表示設定	ワイド、ズーム ● モニター時、最初に映し出す映像をワイドにするかズームにするかを選ぶ
	コントラスト	● 画面の表示が見えにくいとき、コントラスト(表示濃度)を5段階で調整する
	操作ガイド表示	する、しない ● ドアカメラの映像表示中や、録画再生中の操作ガイド(☞ 14、25ページ)を表示させたくないときは、「しない」を選ぶ
カメラ電池セーブ	★	標準、セーブ ● 乾電池をより長もちさせたいときは、「セーブ」を選ぶ(ただし、モニター時は映像が表示されるまでに時間がかかることがあります)

設定を変更するには

★ マークは、ドアモニターのシステム全体に関する設定です。
本機で設定すると、増設したモニター子機の設定も変わります。

項目	設定名	設定内容と概要
画像全消去と初期化	★ 画像全消去のみ	すべての画像を消去、保護画像を残して消去 充電台付親機に記録された画像が消去されます
	★ 画像全消去と初期化※	はい、いいえ 「はい」を選ぶと、充電台付親機に録画された画像(保護画像を含む)が消去され、本機を含むドアモニターのシステム全体の設定が初期化されます
	★ 設定の初期化のみ※	はい、いいえ 「はい」を選ぶと、本機を含むドアモニターのシステム全体の設定が初期化されます
登録/減設	登録	● モニター子機や中継アンテナを充電台付親機に登録する (設定は☞ 28、30ページ)
	減設	● モニター子機や中継アンテナを充電台付親機から減設する (設定は☞ 31ページ)

※ • 初期化をしても、充電台付親機に登録したモニター子機や中継アンテナの登録情報は初期化されません。
• モニター子機の電波表示が圏内でも、ドアカメラが圏外の場合は初期化できません。すべての機器の電波表示が圏内のときに操作してください。

モニター子機を増やす （増設）

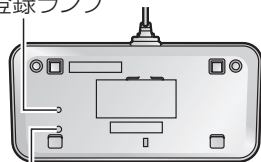
別売のモニター子機（☞ 33ページ）を、付属と合わせて4台まで増やせます。

充電台付親機に登録する

● 充電台付親機に続けて、約2分以内にモニター子機を操作してください。

充電台付親機の操作

1 底面の登録ボタンを先端の細いもので約3秒間押す

● 登録ランプがゆっくり点滅を始めたら、登録ボタンを離す

続けて、約2分以内にモニター子機を操作する

増設するモニター子機の操作

2 メニュー を押す

モニター子機登録
登録を開始します [モニター]を 押してください

3 モニター ON/OFF を押す

● 登録が完了すると「登録完了」と表示される

減設したモニター子機を、再登録するときのモニター子機の操作

メニュー を押し、「各種設定」を選び モニター ON/OFF を押す ➔「登録／減設」を選び モニター ON/OFF を押す
➔「登録」を選び モニター ON/OFF を押す ➔「モニター子機」を選び モニター ON/OFF を押す
➔ モニター ON/OFF を押す ➔ 終わったら、メニュー を2回押す

お知らせ

● 他のモニター子機がモニターなどで使用中の場合は登録できません。
● 登録する子機番号を指定することはできません。

中継アンテナを使用する (増 設)

ドアカメラや付属のモニター子機(または増設したモニター子機)が、充電台付親機から離れていたり、壁などの障害物があって、下記のような症状がある場合は、別売の中継アンテナ「KX-FKD1」を設置すると改善できることがあります。

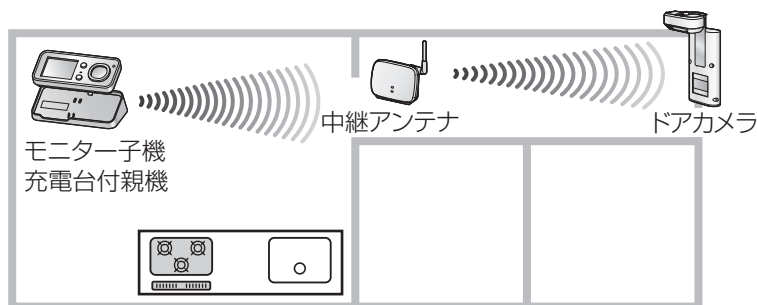
- モニター子機での通話が途切れたり、映像が乱れるとき
- (圏外)で使えないとき

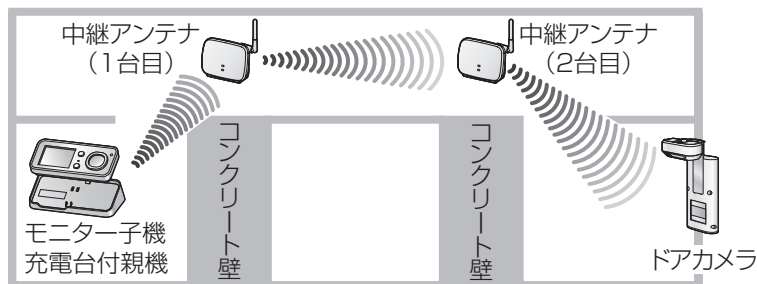
● **設置は最大2台まで。**

● 部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。充電台付親機に登録(☞30ページ)したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

〈電波のイメージと中継アンテナの設置例〉

■中継アンテナ1台を使う(単独接続)

充電台付親機の電波を伸ばします。

■ 中継アンテナ2台を連結して使う(連結接続)

2台の中継アンテナを連結接続して、充電台付親機の電波をより遠くまで伸ばします。

お知らせ

● 充電台付親機とモニター子機の間にも中継アンテナを設置できます。

中継アンテナを使用する（増 設）（つづき）

充電台付親機に登録する

モニター子機の操作

1 メニュー を押し、 で
[各種設定]を選ぶ

2 モニターON/OFF(決定)を押し、 で
[登録／減設]を選ぶ

3 モニターON/OFF(決定)を押し、 で
[登録]を選ぶ

4 モニターON/OFF(決定)を押し、 で
[中継アンテナ]を選ぶ

5 モニターON/OFF(決定)を押し、 で
登録する中継アンテナを選ぶ

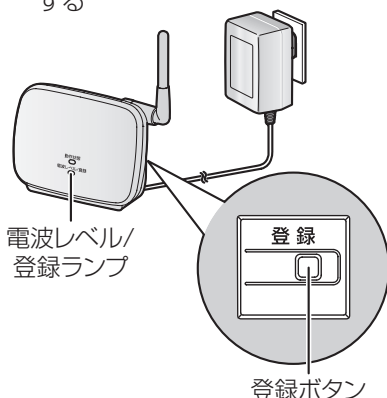
6 モニターON/OFF(決定)を押し、 で
設置する区間を選び、
モニターON/OFF(決定)を押す

- 2台目を登録する場合、1台目と同じ区間で使用するときは[単独で接続]または[連結で接続]を選び、モニターON/OFF(決定)を押す

続けて、約2分以内に中継アンテナを操作する

増設する中継アンテナの操作

7 電源を入れた状態で、
登録ボタンを約3秒間押す

- 電波レベル/登録ランプが緑点滅する

- 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる

（ランプの色は、電波状態によって緑/オレンジ/赤になります。
☞ 中継アンテナの取扱説明書）

8 終わったら、モニター子機の
メニュー を2回押す

お知らせ

- 設置のしかたなど、詳しくは中継アンテナの取扱説明書をお読みください。

必要なとき

使わなくなった機器を減設する

モニター子機・中継アンテナを減設する

操作は、付属のモニター子機で行います。
モニター子機を増設している場合は、増設したモニター子機でも減設操作ができます。
ただし、操作しているモニター子機自身の減設はできません。

1 メニュー を押し、 で

[各種設定]を選ぶ

2 モニター ON/OFF（決定）を押し、 で

[登録／減設]を選ぶ

3 モニター ON/OFF（決定）を押し、 で

[減設]を選ぶ

4 モニター ON/OFF（決定）を押し、 で

[モニター子機]または
[中継アンテナ]を選ぶ

5 モニター ON/OFF（決定）を押し、 で

減設するモニター子機または中継アンテナを選ぶ

- 下記の場合は、グレーで表示され減設や選択はできません
  - 操作しているモニター子機の減設
  - 登録されていないモニター子機や中継アンテナの選択
- 中継アンテナ2台を連結接続していたときは、遠い方からしか減設できません

6 モニター ON/OFF（決定）を押す

7 終わったら、

メニュー **を2回押す**

お願い

- 誤動作防止のため、減設したモニター子機のバッテリーパックは外してください。

乾電池・バッテリーパックを交換する

ドアカメラの乾電池について

電池切れの場合は、新しいものと交換してください。

- 乾電池は、単3形アルカリ乾電池をお使いください。
- 乾電池を入れる手順は、19ページを参照してください。

ドアカメラ本体の落下防止のため必ずドアを閉め、電源をOFFにしてから、お取り替えください。

■使用済みの乾電池を捨てるとき

- 「燃えないゴミ」として、地域条例に従って処理してください。
- ショートによる液もれ・発熱・破裂の原因になりますので、端子を絶縁するためにテープを貼ってください。

モニター子機のバッテリーパックについて

充電してもすぐに電池残量がなくなる場合は、新しいものと交換してください。

- バッテリーパックは、別売品「CGA-LB102」をお使いください。（☞ 33ページ）
  ➔ 仕様：リチウムイオン電池、DC 3.7 V、940 mAh
- バッテリーパックを入れる手順は、16ページを参照してください。

■古いバッテリーパック（リチウムイオン電池）はリサイクルに…

Li-ion 00

- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- 交換後不要になったバッテリーパック、および使用済み製品から取り外したバッテリーパックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
  - 製品、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
  - 一般社団法人JBRCおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

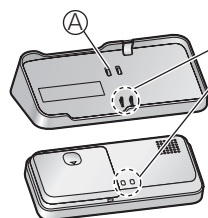
  一般社団法人 JBRC のホームページ
  http://www.jbrc.com

- **リサイクル時のお願い**
  - バッテリーパックはショートしないようにしてください。発煙・発火の原因になります。
  - 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
  - バッテリーパックを分解しないでください。

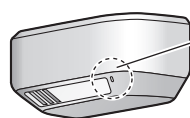
お手入れ／別売品

お手入れするときは
柔らかい布で、からぶきする

- 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

■ **充電台付親機や電源プラグをふくとき**
安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

充電端子は月に一度、乾いた布でふく

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

- 充電端子が出てくるようにⒶを押してください。

ドアカメラのマイクの水滴は綿棒などでふき取る

（雨などの水滴が付いていると、音がこもって聞こえることがあります）

お願い

- お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の原因になります）

別売品

ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
品番および価格は 2011 年 12 月現在のものです。

製品名	品番	希望小売価格（税込）
ワイヤレスモニター子機	VL-DM200-S	20,055 円
中継アンテナ	KX-FKD1	12,600 円
ワイヤレスモニター子機用バッテリーパック※	CGA-LB102	4,830 円

※ お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります。

仕様

■ワイヤレスモニター子機

電　源	リチウムイオン電池 (品番：CGA-LB102) (DC 3.7 V)(940 mAh)
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	本体：約21 × 126 × 59 (突起部除く) 充電台付親機使用時： 約 51 × 132 × 79.5 (突起部除く)
質　量	約120 g(バッテリーパック含む)
使用環境条件	周囲温度：+5 ℃ ～ +40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	2.2型TFTカラー液晶 ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB
通話方式	プレストーク
使用時間※1	連続使用時間 モニター時間　：約2.5時間 待ち受け時間　：約100時間
充電時間	約6時間
使用可能距離	約70 m (充電台付親機との見通し距離)

■充電台付親機(MAIN UNIT)

電　源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1 W 動作時　　：約2 W (モニター子機を充電台付親機から外しているとき) 充電時　　：約5 W
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	充電台： 約41 × 132 × 75 (突起部除く)
質　量	約175 g
使用環境条件	周囲温度：+5 ℃ ～ +40 ℃ 湿度　　：90 %以下
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-WB

■ワイヤレスドアカメラ

電　源		単3形アルカリ乾電池4本
電池寿命		約6か月※2 (室温20 ℃で1日5回、1回につき約20秒間映像を表示した場合)
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)		無線ユニット　： 約150 × 78 × 27 (突起部除く) カメラユニット： 約37 × 87.5 × 40 (突起部除く)
質　量		約325 g (乾電池含む)
使用環境条件		無線ユニット(室内) 周囲温度：0 ℃ ～ +40 ℃ 湿度　　：90 %以下 カメラユニット(室外) 周囲温度：－10 ℃ ～ +50 ℃ 湿度　　：90 %以下
取付方法		ドア挟み込み
無線通信方式		1.9 GHz TDMA-WB
最低被写体照度		5ルクス以上
防水性		カメラユニットのみIPX3※3相当 (旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)
画角	ワイド	左右：約120°、上下：約90°
	ズーム	左右：約50°、上下：約40°
使用可能距離		約70 m (充電台付親機との見通し距離)

※1　充電完了の状態で、使用環境温度が20 ℃のとき

※2　パナソニック製の単3形アルカリ乾電池を使用した場合

※3　鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

困ったとき

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示(ドアカメラ映像)	映像がゆがんで見える	● カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。	–
	人の顔が暗く映る	● ドアカメラを逆光になる位置に設置していると、訪問者の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ➔ 映像表示中に、明るさを調整してください。	22
	映像がはっきりしない・焦点が合わない	● ドアカメラのレンズカバーが汚れていませんか？ ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。 ● ドアカメラのレンズカバーが結露していませんか？ ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	33 –
	周囲が暗いときに映像が白っぽくなる	● 周囲が暗くなってくると、訪問者の顔などを見やすくするため、自動的に映像を明るく調整します。(白っぽく見えますが、故障ではありません)	–
	映像全体が白っぽい、または黒っぽい	● 明るさの設定は適切ですか？ ➔ 映像表示中に、明るさを調整してください。	22
	映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される	● カメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません) ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。	–
	画面に色ムラが発生する	● 「色ムラ防止設定」が、お使いの地域(東日本 / 西日本)に合わせて正しく設定されていますか？ • 蛍光灯など交流電灯の照明によって、しま模様になることがあります。(フリッカー現象) ➔ 地域に合わせて正しく設定すると改善できます。転居などで地域が変わったときは、設定を変更してください。	26

困ったとき（つづき）

	こんなとき(症状など)	原 因 と 対 応	ページ
画面表示(ドアカメラ映像)	**映像が乱れる、 または 映像の更新が遅い (約５秒以上かかる)**	● ドアカメラやモニター子機が、充電台付親機から離れすぎている、または機器の間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアカメラの近く、または障害物のない場所に充電台付親機やモニター子機を移動させてください。移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。	9 29
	録画再生で録画日時が表示されない	● 日時が設定されていません。または、長期間電源プラグを抜いたときや停電のときは日時が初期値に戻ることがあります。 ➔ 日時を設定してください。	17
充電	**充電台付親機 (または充電台※)に置いても充電ランプが点灯しない**	● 電源プラグがコンセントから外れていませんか？ ➔ 電源プラグをしっかり差し込んでください。 ● 充電台付親機に正しく置いていますか？ ➔ 正しく置いてください。 (充電ランプが赤点灯する) ● 充電端子が汚れていませんか？ ➔ 乾いた布でふいてください。 ● 上記の内容を確認しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	16 16 33 –
	充電しても2、3回使うと [電池アイコン] が赤で表示される	● バッテリーパックの寿命です。 ➔ 交換してください。	32
	モニター子機、 充電台付親機 (または充電台※)が温かい	● 異常ではありません。 (夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります) ➔ 非常に熱いときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーパックを外して、お買い上げの販売店にご相談ください。	–

※ モニター子機を増設してご使用の場合

	こんなとき(症状など)	原 因 と 対 応	ページ
その他	ドアカメラの 電池切れが早い	● ドアカメラが充電台付親機の圏外になっていませんか？ ➔ 圏外となっている場合、ドアカメラが充電台付親機を探す動作を繰り返し、乾電池の消耗が早くなります。圏内になるように充電台付親機を移動させてください。	15
		● 充電台付親機の電源プラグをコンセントから抜いていませんか？ ➔ 充電台付親機の電源プラグを抜くと、ドアカメラが充電台付親機の圏外となり、ドアカメラが充電台付親機を探す動作を繰り返し、乾電池の消耗が早くなります。電源プラグを抜くときは、ドアカメラの電源用スライドスイッチも OFF にしてください。	―
		● 充電式電池を使っていませんか？ ➔ 充電式電池の電池容量によっては、電池寿命が短くなることがあります。故障ではありません。	―
	停電のとき 使えますか？	● 使えません。日時が初期値に戻ることがあります。 ➔ 戻ったときは、日時を設定し直してください。	17
	正しく操作しても 動かない 動作がおかしい	● 直らないときは、下記の操作を行ってください。 〈ドアカメラ〉 乾電池を交換してください。 〈モニター子機〉 バッテリーパックを入れ直してください。 • 登録した設定内容などは消えません。 〈充電台付親機〉 電源を入れ直してください。	32 16
	画面に「展示モード中」と表示される	● 販売店用の展示モードになっています。 ➔ 通常のモードに戻すには、(終了)を押し、画面の表示に従って操作してください。	―

こんな表示が出たら

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
カメラに 接続できません	● 次のことが考えられます。 • ドアカメラの電源がOFFになっている ➔ 電源をONにしてください。 • ドアカメラの電池が切れている ➔ 乾電池を交換してください。 • ドアカメラの電源は入っているが、ドアカメラが充電台付親機の圏外になっている ➔ 充電台付親機をドアカメラの近くまたは障害物のない場所に移動してください。(圏内になれば接続できます) ➔ ドアカメラの電源を一度OFFにし、再度ONにしてください。(圏内になれば接続できます) ➔ 修理に出して交換されたドアカメラの場合、充電台付親機への登録が必要です。(登録のしかたは☞ 下記) **〈ドアカメラの登録のしかた〉** 充電台付親機に続けて、約2分以内にドアカメラを操作してください。 **充電台付親機の操作：** 1. 底面の登録ボタンを先端の細いもので約13秒間(登録ランプが速点滅するまで)押し続ける ● 登録ランプは、登録ボタンを押して約3秒後にゆっくり点滅を始め、さらに約10秒後に速点滅(カメラ登録モード)に変わります。 **ドアカメラの操作：** 2. 乾電池を入れる(☞ 19ページ) 3. 登録ボタンを先端の細いもので押しながら電源をONにする (登録ランプが点滅を始めるまでボタンを離さないでください) ● 登録ランプが速く点滅します ■ 登録が完了した場合、登録ランプが次のとおり変化します 速い点滅 → 約10秒間点灯 → 消灯 ■ 登録が失敗した場合、登録ランプが次のとおり変化します 速い点滅 → 消灯 (再度、登録操作をやり直してください)	12 32 9 12 –

こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
保護画像です 保護を解除してください	● 保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	25
保護画像がいっぱいです これ以上保護できません	● 保護画像がいっぱい(5件)になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護設定してください。 ※ 保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	25 24
使用中	● 他のモニター子機が使用中です。 ➔ 他のモニター子機での使用が終わってから、やり直してください。	–
登録できません	● モニター子機/中継アンテナを登録時、指定時間内(約2分以内)に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。	28 30
親機に接続できません	● モニター子機が充電台付親機から離れすぎている、または充電台付親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 充電台付親機の近く、または障害物のない場所にモニター子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。	9 29

保証とアフターサービス　よくお読みください

ご相談の前に

① 35～39ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
② ホームページの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。
http://panasonic.jp/com/support/doormoni/

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話
（　　　）　　　－

お買い上げ日
　　　年　　　月　　　日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレス ドアモニター
品番	VL-SDM200
故障の状況	できるだけ具体的に

● **保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品※に保証書を添えてご持参ください。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間　**【持込修理対象商品】**

ただし、付属の乾電池やバッテリーパックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

※ 修理を依頼するときは、まず、11ページの「個人情報について」を必ずお読みのうえ、下記の機器すべてをご持参ください。

ドアカメラ

モニター子機

充電台付親機（MAIN UNIT）

■ 増設している場合…
（増設している機器すべて）

モニター子機
充電台（CHARGER）

中継アンテナ
（ACアダプター含む）

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 7年

当社は、このワイヤレスドアモニターの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター

電 話 365日 受付9時〜20時

フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230 #」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話

フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お 願 い

● 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

保証とアフターサービス（つづき） よくお読みください

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

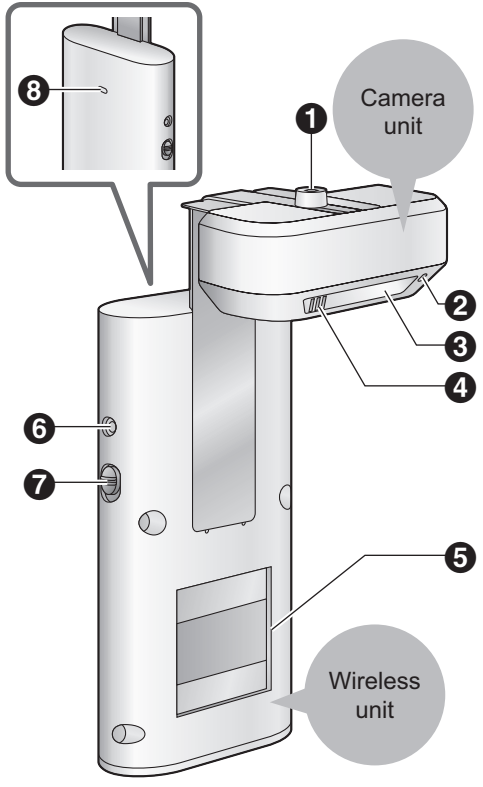
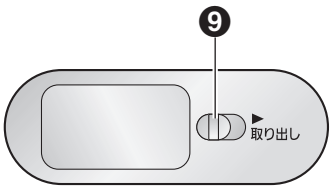
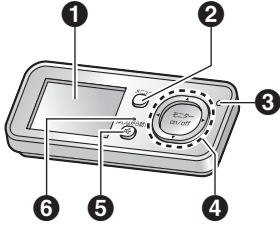
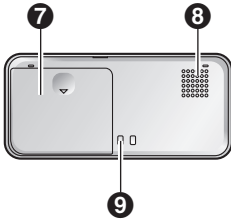
近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

Quick Reference Guide

Parts Descriptions

VL-DC851

1. Fixing screw
2. Microphone
3. Camera lens
4. Speaker
5. Magnets /Rubber
6. Registration button
7. Power switch
8. Registration light
9. Slide lever

Quick Reference Guide (Continued)

❶ Display

❷ Menu button

❸ Charging light

❹ Navigator button

❺ Talk button

押しながら話す

❻ Microphone

❼ Battery cover

❽ Speaker

❾ Charging terminal (Metal parts)

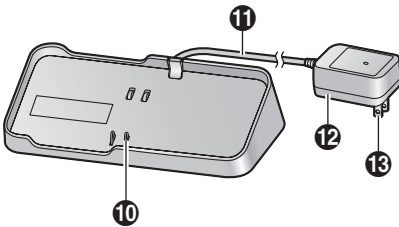
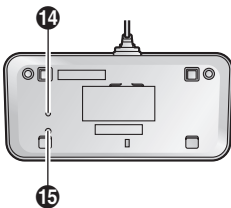
❿ Charging terminal (Metal parts)

⓫ Power supply cord

⓬ Power supply part

⓭ Power supply plug

⓮ Registration light

⓯ Registration button

Basic Operations

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To monitor

Press モニター ON/OFF (❹). ➔ Press モニター ON/OFF to finish.

■ To switch the displayed image between wide and zoom (The default is wide.)

Press モニター ON/OFF (❹) for about 3 seconds to switch between wide view and zoom view.

■ To talk

Press and hold 押しながら話す (❺) while monitoring.

(You cannot hear outside sounds when talking.)

■ To record the displayed image

Press メニュー (❷) while monitoring. ➔ Press ▶ (❹).

■ To view recorded images

Press メニュー (❷). ➔ Select［画像再生］using ▲▼ (❹). ➔

Press モニター ON/OFF (❹). ➔ Press モニター ON/OFF to finish.

さくいん

A～Z

あ 行

か 行

さ 行

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

携帯

- 本機の製品情報をホームページで見ることができます。
  http://panasonic.jp/doormoni/
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- モニター子機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

た　行

な　行

は　行

ま　行

ら　行

わ　行

■ 本機は日本国内用に設計されています。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■ This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

本機は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物(または技術)に該当します。本機を日本国外へ輸出する(技術の提供を含む)場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをおとりください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「230＃」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 06-6907-1187
■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/
インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

• 有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検 長年ご使用のワイヤレスドアモニターの点検を!

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

Printed in Vietnam PNQX5027XA DD0911MM2042

Panasonic® ワイヤレスドアモニター VL-SDM200 取扱説明書